

新型コロナウイルス感染症（デルタ株等）の可能性のある患者の発生について

本県で発生した新型コロナウイルス感染症の患者等の検体について、県でデルタ株スクリーニング検査（L452R 変異株 PCR 検査）を行ったところ、デルタ株等に該当する可能性がある結果となりました。当該検体は保健環境科学研究所で確定検査（ゲノム解析）を行います。なお、検査確定後に、結果を御報告します。

当該患者については、速やかに入院していただいております。保健所による積極的疫学調査を入念に行い、感染拡大防止に取り組んでいます。

変異株についても、3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの対策は有効であるため、県民の皆様の感染防止対策への御協力をお願いいたします。

(1) 患者について

No.	年代	性別	症状・経過	備考
759	30代	男性	7月中旬 陽性判明 入院中	・海外滞在歴なし ・県外滞在歴あり ・不特定多数との接触なし
760	30代	女性	7月中旬 陽性判明 入院中	・海外滞在歴なし ・県外滞在歴なし ・不特定多数との接触なし
761	10歳 未満	男性	7月中旬 陽性判明 入院中	・海外滞在歴なし ・県外滞在歴なし ・不特定多数との接触なし
762	40代	男性	7月中旬 陽性判明 入院中	・海外滞在歴なし ・県外滞在歴あり ・不特定多数との接触なし
763	10代	女性	7月中旬 陽性判明 入院中	・海外滞在歴なし ・県外滞在歴あり ・不特定多数との接触なし

(2) 県の対応について

本県の保健環境科学研究所で検査を実施し、新型コロナウイルス陽性となった検体は、当面、全ての検体について、デルタ株スクリーニング検査を実施。また、医療機関で陽性となった検体についても行動歴や感染経路の調査結果に基づき、必要な場合にデルタ株スクリーニング検査を実施。

●新型コロナウイルス変異株について

ヒトへの感染性・伝播のしやすさ、重篤度、ワクチンや治療薬の効果への影響などの性質が変化した（またはその可能性のある）新型コロナウイルス。デルタ株は特に感染性が強い変異株として流行が懸念されている。デルタ株スクリーニング検査ではL452R 変異の有無を確認するもの。デルタ株スクリーニング検査では、イプシロン株やカッパ株なども検出される。

※今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、患者やご家族のプライバシーに格段の御配慮をお願いします。

熊本県健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：上野、神西、益田、宮本
電話：096-333-2630（内線5935）